



内のタクシー事業者として唯一「グリーン経営認証」(交通エコロジー・モビリティ財団)を取得し、またプリウスなどのエコカーを積極的に導入するなど「環境」を大切にする姿勢を打ち出している、アサヒタクシー(株)。

また観光タクシーや介護タクシー、地域コミュニティーバスなどで行い、ビジネスに地域貢献、社会貢献の要素を取り入れることにも、積極的です。

同社の笠原正人社長は、「私どもは、お客様から必要とされる企業でありたいということを基本に考えています。そのためには、顧客満足度を高めることのできる会社組織作りやサービスの導入などが、不可欠です。

同時に、自動車を使ってビジネスを行なっている企業として、環境問題への取り組みは、絶対に必要なことです。こうしたことを見、企業活動の方向性として考えています



県内で最初にハイブリッドカーを導入。現在はプリウスなど6台を運用。

同社では、社員の多くが入社時、タクシー業務未経験者とのこと。雇用して業務に必要な免許を取得させるとともに、業務に必要な知識・技術を勉強させます。

「お客様に必要とされる企業であることが、第一です」

CSR活動に取り組む宇都宮市内の企業を紹介する、本コーナー。最終回の今回は市民の足として活躍する、アサヒタクシー(株)の地域貢献を取材しました。



代表取締役社長
笠原 正人氏

アサヒタクシー株式会社 代表取締役社長 笠原正人

◎設立 昭和40年
◎業種 タクシー事業
(本社) 〒320-0813
栃木県宇都宮市二番町2-7
☎ 633-7673
<http://www.asahi-taxi.com>

◎認定
グリーン経営認証
(交通エコロジー・モビリティ財団)

ユニークなのは、運転技術だけでなく、宇都宮市の歴史・文化についての勉強も含まれていること。観光案内が可能なレベルまで習得させているといいますから、徹底しています。

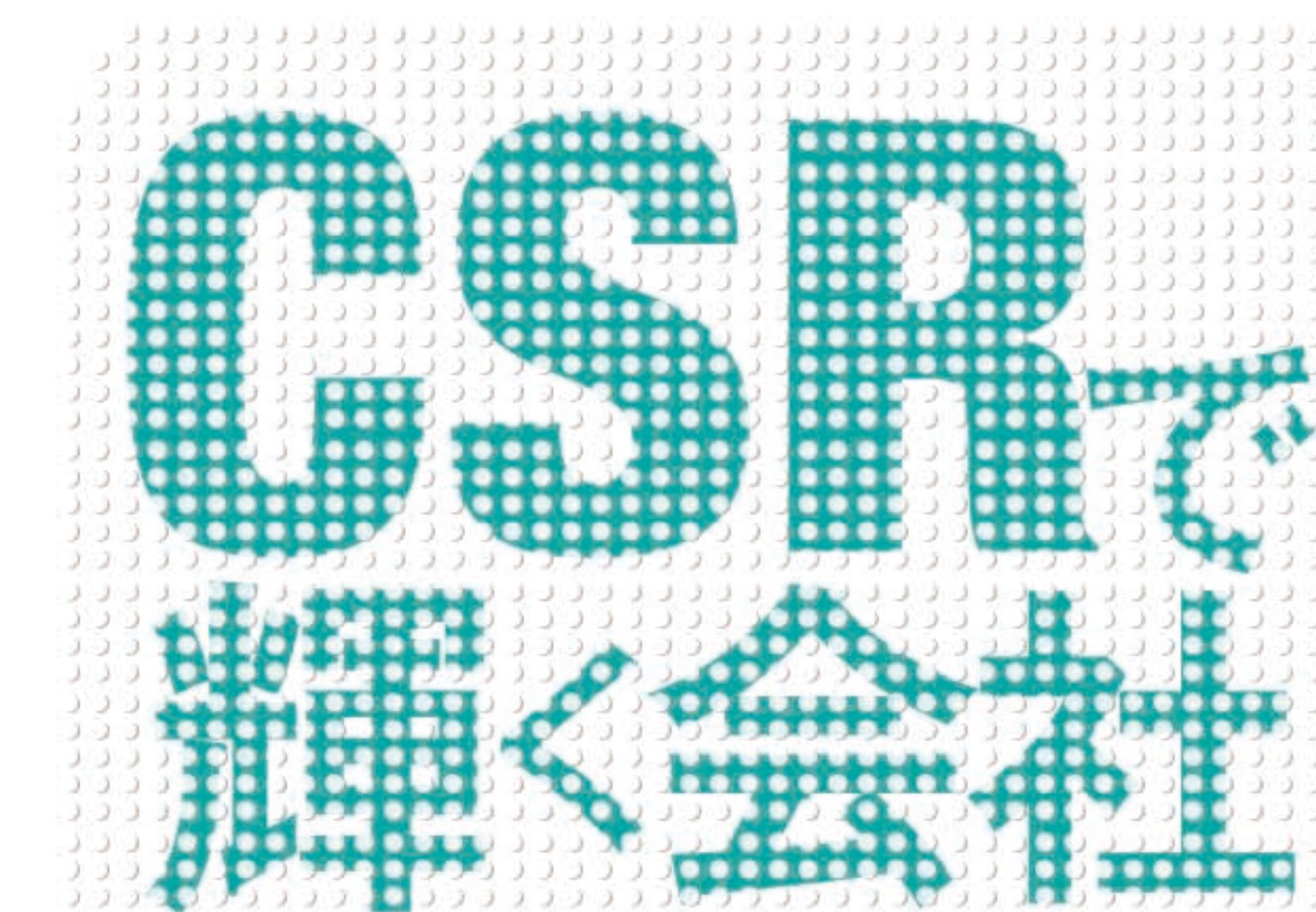
エコについても、エコドライブコンテストを社内で実施するなど、意識付けを絶えず行っています。その積み重ねが、グリーン経営認証取得につながっています。

「来年度には、電気自動車の導入も予定しています。うまく

稼働することがでければ、ハイブリッドカーより効率的に運用できると期待しています」



アサヒタクシー(株)本社



第14回 アサヒタクシー 株式会社